大宮南部浄化センター

みぬま見聞館だより No.75

令和7年3月1日発行

【“ヌゥ”＆見聞館キャラクター“クリンちゃん”より】

現在臨時休館中のみぬま見聞館・自然庭園は３月２９日から再開予定です。
今回は、３月下旬から自然庭園の遊歩道沿いに赤い色の花を咲かせる「ボケ」を紹介します。「ボケ」は、バラ科ボケ属の中国原産の落葉低木で、赤色のほかにも白色やピンク色、オレンジ色などの花を咲かせる種類もあるそうです。
また、「ボケ」の実は、クエン酸などの有機酸を多く含み、香りも良いとのことです。
「ボケ」の花実を見にみぬま見聞館の自然庭園を是非訪れてみてください。

ボケの花

ボケの実

日本最小のタカが来ています

みぬま見聞館の自然庭園では、多くの小鳥だけでなく猛禽類と呼ばれる他の生き物を捕食する鳥たちも訪れています。近年、そんな猛禽類の仲間であるツミを見かけることが多くなりました。ツミは、タカ目タカ科ハイタカ属に分類され、埼玉県では準絶滅危惧２型に区分されています。オスは全長27cmくらい、メスはやや大きく30cmくらいと、ハトと同じくらいの小さなタカになります。

当館の庭園では、他の鳥などを捕食することもありますが、水浴びをした後、樹上で翼を広げ乾かしているなど、とてもくつろいだ様子でいることが多いような気がします。それでもよく見ていると、猛禽と呼ばれるだけあって、鋭いクチバシ・ツメ・瞳、オオタカにも負けない力強さを感じることができます。

ちなみにツミもほかの鳥達と同様、巣を作るときに周りの外敵を追い払う習性があるのですが、オナガという鳥は、あえてツミの巣のそばで巣作りをすることが多く、この関係は天敵であるカラスを追い払うための共同防衛とも言われています。

ツミ（オス）

翼を広げているツミ

水浴び中のツミ

秋の自然観察・環境学習会を行いました

１１月１７日に秋の自然観察・環境学習会を行いました。

当日は１１組３０名の参加があり、さいたま市の環境教育の取組や外来生物への取組について学んでいただきました。

次に、一般社団法人日本フォトガラスアート協会から講師を迎え、「簡単なSDGｓのお話と『リサイクルガラスアート体験』」を行いました。リサイクルガラスアート体験では、廃材ガラスを加工したガラスビーズを使用して、参加者みなさんでデザインしたキーホルダーを作成しました。

また、自然庭園にて自然観察・撮影を行い、「生きもの調査」に協力していただきました。

最後に、自然庭園で撮影した生きものについて参加者発表を行いました。

講義

SDGｓのお話

リサイクルガラスアート
（左：作成の様子　右：参加者の作品）

自然観察

参加者発表

大人のための野鳥観察会を行いました

１２月１３日に、公益財団法人埼玉県生態系保護協会の岩木晃三氏を講師に迎え、大人の方を対象にした野鳥観察会を行いました。当日は23名の参加があり、みぬま見聞館から皇山川排水機場まで芝川の土手上を歩き、クイナを含む２６種の野鳥を観察することができました。

大人のための野鳥観察会の様子

クイナ

カワセミ

土曜チャレンジスクールを行いました

令和７年１月２５日に芝川小学校の土曜チャレンジスクールを行いました。当日は引率者と合わせて２４名の参加があり、みぬま見聞館から芝川を土手沿いに下り、皇山川排水機場の手前で折り返して合併記念見沼公園まで野鳥観察を行いました。

土曜チャレンジスクールの様子

ネイチャーポジティブの実現に向けて

「生物多様性」とは、いろいろな生きものがそれぞれ支えあって生きていることで、私たちの生活にもたくさんの恵みを与えてくれます。たとえば、わたしたちがいま食べている野菜も、昆虫が花粉を運ばなければ実をつけることができないものがあります。

しかし、この生物多様性は急速に失われています。この生物多様性の損失を止め、回復させるための行動を起こすことを「ネイチャーポジティブ」といい、世界が2030年までに達成すべき目標となっています。日本でも、2年前に生物多様性国家戦略が改訂され、2030年までに陸地と海の３０％を保護しようとする「３０ｂｙ３０」の取り組みなどが盛り込まれ、ネイチャーポジティブの実現に向けて取り組んでいます。このように言うと、ネイチャーポジティブの実現のためにできることはむずかしいように感じてしまいますが、実は、身近にできるちょっとした取り組みで貢献することができます。例えば、

- 地元の食材を食べる
- 自然の美しさを写真などで伝える
- 自然観察や自然体験の機会を増やす

などがあります。このような自然を守るためにできる行動を、私たち一人一人が積み重ねることが大切です。さいたま市にも探してみるとたくさんの生きものがいます。これらを守るためにも、皆さんも身近なところから、ネイチャーポジティブの実現のためにできることを考えてみませんか？

◇さいたま市の生きもの調査

- 市民参加型「さいたまみんなの生きもの調査（チョウ・トンボ）」
- 「さいたま市内河川の生きものについて」

〈さいたま市の取り組みで観察できた生きもの〉

ミドリシジミ

チョウトンボ

ニホンウナギ

タコノアシ

（さいたま市環境局環境共生部環境対策課）

出前講座について

皆さまのところへ職員が伺い、生きものとのふれあい体験など、自然に親しんでもらう出前講座を開設しております。毎年多数のご利用をいただいており、令和７年度の受付は４月から予定しております。（講座内容は要相談）

未来くるワーク体験が行われました

１１月２７日～２９日に第二東中学校１年生の未来くるワーク体験を行いました。みぬま見聞館の開館作業や自然庭園・屋上庭園の清掃等を体験してもらいました。

未来くるワーク体験の様子

団体見学について

・１１月５日に芝川小学校が団体見学で訪れました。（写真①，②）

・１１月７日に海老沼小学校が団体見学で訪れました。（写真③，④）

なお、団体見学の場合は事前に、ご連絡ください。（内容については要相談）

写真①

写真②

写真③

写真④

臨時休館のお知らせ

・令和７年１月６日（月曜日）から３月２８日（金曜日）まで基幹改良工事のため、みぬま見聞館・自然庭園は臨時休館とさせていただいております。
肥料の販売については、臨時休館期間中も引き続き行っております。
くわしくは市のホームページでご確認ください。

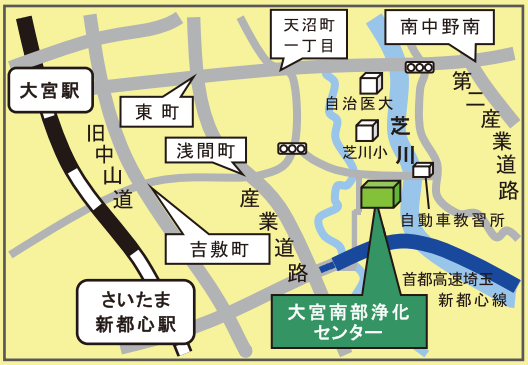
・令和７年３月２９日（土曜日）から、みぬま見聞館・自然庭園のリニューアルオープンを予定しております。ご来館をお待ちしております。

みぬま見聞館・自然庭園の見学について

みぬま見聞館・自然庭園を 10 名以上で見学または
職員の案内を希望される場合は事前にご連絡ください。
個人での来館もお待ちしています。

開館時間　９：00～17：00　**入 館 料**　無料
休 館 日　年末年始・毎月第４土曜日
住　　所　さいたま市見沼区大字上山口新田 508 番地 1
電話番号　048-646-6030　FAX 048-646-6033

※詳しくは、市のホームページをご覧ください。



発　　行　さいたま市環境局施設部大宮南部浄化センター（みぬま見聞館）
この印刷物は環境に配慮したインクで印刷しています　印刷部数6,400部　単価10.2円

のびのびシティ さいたま市